

アンケート調査ご協力をお願い

資料 3

男女共同参画に関する市民意識調査

皆様には、日頃より市政に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、市民一人ひとりがお互いを大切に、性別にかかわらず個性を輝かせて生き生きと暮らすことのできる「男女共同参画社会」の実現を目指して、基本計画「まえばし Wind プラン 2014」を策定し、様々な取組みを進めています。本調査は、この取組みを更に充実させるため、満18歳以上（平成14年4月1日以前出生）の市民の方3,000人を無作為に選び、ご意見をお伺いすることで、次期基本計画の基礎資料とさせていただきます。

ご記入につきましては無記名とし、調査結果はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

令和2年7月

前橋市長 山本 龍

記入方法等についてのお願い

1. 調査の回答は、封筒のあて名のご本人がご記入ください。ご本人による記入が難しい場合は、ご家族の方などが回答を聞き取るなどして記入の補助を行ってください。
2. ご記入は、濃い鉛筆か黒または青のボールペン・万年筆でお願いします。
3. 質問ごとに現在の状況やお考えに最も近い番号を選び、その番号を○で囲んでください。
4. 回答の数は、(○は1つ) (○は3つまで) (○はあてはまるものすべて) など指定してありますので、それにあわせて該当の番号を○で囲んでください。
5. 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
6. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や説明文に基づいてご回答ください。
7. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
7月 日()までにご投函ください。
8. アンケートの集計結果は、令和3年 月頃前橋市ホームページなどでお知らせする予定です。

9. 問合せ先

前橋市 市民部 生活課 男女共同参画センター

電話 027-898-6517 FAX 027-221-6200

E-mail : sankaku@city.maebashi.gunma.jp

女性の人権について

問2 女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 「男は仕事、女は家庭」という考え方
2. ~~昇給・昇進の格差など、職場における男女の差~~ 職場における待遇（採用・昇格・昇進・賃金など）の男女格差
- ~~3. 女性ということで見解を無視する行為~~
3. ~~夫や恋人からの配偶者や交際相手からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）~~
- ~~4. 大学・大学院や理工系学部への進学率における男女の差~~ →削除の可否は審議会で意見が分かれた
4. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）、マタニティ・ハラスメント
5. ストーカー行為、痴漢行為、その他の性被害
6. 売春、買春、援助交際
7. ~~ビデオ、雑誌等における女性のヌード写真や映像の商品化など~~ 内容に関係なく、女性の水着やヌード写真などを用いた広告物の掲出など
- ~~8. 電車内など公共の場における性情報の氾濫~~ 9. 女性の容姿を競うコンテスト
8. その他（)
9. 特になし

問3 新聞・雑誌・テレビ・インターネットなどのメディアにおける性や暴力（DV等）の表現について、どのように思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 女性の性的側面を強調しすぎる
2. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観を損なう
3. 女性に対する犯罪を助長している
4. ~~そのような表現を見たくない人や子どもに対するの目にふれないようにする~~ 配慮が足りない
5. 女性のイメージや男性のイメージについて、かたよった表現をしている
6. その他（)
7. 特に問題はない

問4 女性の人権を守るために、どうしたらよいとどのようなことが必要だと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 法律・制度の制定や見直しを行う
2. 「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性差別性別役割分担意識を変えるための啓発活動はたらきかけを行う
3. 各種審議会や管理職など様々な意思決定や方針決定の場への女性参画の促進女性の進出を促進するための政策（ポジティブアクション）を積極的に導入する
4. 男女平等や性についての関する教育の充実
5. 女性の人権侵害に対する人権相談窓口や支援体制の充実
6. 男女が共に家庭と仕事を両立できる支援策の充実
7. DV等の暴力からの保護が必要な女性を守るための支援体制の充実
8. 女性の就労機会の確保や職場における男女均等な処遇への働きかけ
9. その他（)
10. 特に対策の必要はない 特になし
11. わからない

問5 これまでに配偶者や**恋人交際相手**などから、次にあげるような暴力を受けたことがありますか。(○はそれぞれ1つつつ)

項目	何度もあつた	1、2度あつた	まったくなく
① 命の危険を感じるくらいの身体的暴力（なぐる、けるなど）	1	2	3
② 医師の治療を必要とするくらいの身体的暴力	1	2	3
③ 医師の治療を必要としないくらいの身体的暴力	1	2	3
④ 精神的暴力（おどす、無視する、人格を否定する言葉を言う、交友関係や行動を監視するなど）	1	2	3
⑤ 性的暴力（性行為や中絶を強要する、ポルノ雑誌などを無理に見せる、避妊に協力しないなど）	1	2	3
⑥ 経済的暴力（生活費を渡さない、働くことを妨害するなど）	1	2	3



問5-1 「何度もあつた」「1、2度あつた」とお答えした方にお聞きします。これまでに、だれ（どこ）かに**うちあけたり**、相談しましたか。(○はどちらか1つ)

1. 相談した	2. 相談しなかった（できなかった）
---------	--------------------

問5-2

1. 相談したとお答えの方に

そのとき、だれ（どこ）に相談しましたか。(○はあてはまるものすべて)

1. 警察
2. 公的機関
 - ア. **配偶者暴力支援センター**
 - 群馬県女性相談センター**
 - イ. **前橋市男女共同参画相談室**
 - 前橋市配偶者暴力相談支援センター**
 - ウ. その他 ()
3. 民間の機関 ()
4. 医療関係者（医師、看護師等）
5. 家族・親族
6. 友人・知人
7. 学校関係者（教員、養護教員等）
8. その他 ()

問5-3

2. 相談しなかったと答えた方に

だれ（どこ）にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. どこに相談してよいかわからなかった
2. 人に知られなくなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると仕返しをされると思った
5. 相談することによって自分が不快な思いをすと思った
6. 自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思った
- ~~7. 世間体が悪い~~
7. 他人を巻き込みたくなかった
8. 被害を受けたことを忘れたかった
9. 自分にも悪いところがあると思った
10. 相談するほどのことではないと思った
11. その他 ()

学校教育について

問6 学校教育において、どのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 学校生活の中で、性別にかかわらず**子どもの特性等を生かした役割分担に努める**
一人一人の個性や特性等を生かせるように配慮する
2. 生徒指導や進路指導等の場面で、性別にかかわらず個々の個性や特性等に十分に配慮する
3. 授業等で、**を通して男女平等の意識を育てていく男女が認め合い、尊重し合う大切さを理解するための学習を行う**
4. 教職員に対して、**男女平等教育共同参画を推進する**教育に関する研修を充実する
5. 校長・教頭などに女性を積極的に登用する
6. 人権尊重の心を培う教育を充実する ↓ 審議会意見
7. **PTAなどを通じ、男女平等教育の理解と協力を深める保護者会や(からの)情報提供を通じて家庭や地域と連携し、男女共同参画を推進する教育についての充実を図る**
8. その他 ()
9. わからない

家庭生活について

問7 家庭生活に関して、次のことをどの程度行っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

項目	する	時々する	ほとんどしない	しない	該当しない
① 掃除	1	2	3	4	審議会では、24時間の内訳として聞くなら、「食事・入浴」入れてはどうかと提案あり。 24時間の内訳とするかどうかも含めて検討が必要
② 洗濯	1	2	3	4	
③ 食事の支度	1	2	3	4	
④ 食事の片付け	1	2	3	4	
⑤ ゴミだしごみ出し	1	2	3	4	
⑥ 日常の買い物	1	2	3	4	
⑦ 家計の管理	1	2	3	4	
⑧ 町内会や自治会等の地域活動	1	2	3	4	
⑨ 子どもの世話子育て	1	2	3	4	
⑩ 授業参観学校行事やPTA活動への参加	1	2	3	4	
⑪ 家族の看護・介護	1	2	3	4	

問8 平日、次のようなことに使う時間はどのくらいですか。

1. 家事・育児・介護の時間	1日当たり平均	_____	時間	分
2. 仕事の時間(通勤時間を含む)	1日当たり平均	_____	時間	分
3. 睡眠時間	1日当たり平均	_____	時間	分
4. 自分自身のための自由な時間	1日当たり平均	_____	時間	分
5. 家族とともに過ごす時間	1日当たり平均	_____	時間	分

問9 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

1. 反対	2. どちらかといえば反対
3. どちらかといえば賛成	4. 賛成
	5. わからない

問10 結婚・家庭に関する次のような考え方についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

項目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
① 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
② 精神的にも経済的にも安定するから結婚したほうがよい	1	2	3	4	5
③ 結婚してもうまくいかなければ離婚してもかまわない	1	2	3	4	5
④ 結婚しても、子どもを持つことにこだわらない	1	2	3	4	5
⑤ 結婚したら自分自身のことより、配偶者や子どもなど家族を中心に考えて生活したほうがよい 同性同士の結婚も社会的に認められるべきである	1	2	3	4	5
⑥ 子どもは、女の子らしさ、男の子らしさにこだわらず、個性を重視して育てたほうがよい	1	2	3	4	5
⑦ 女の子も男の子も性別に関わらず、同じ程度の学歴を持つほうがよい	1	2	3	4	5

ランドセルの色などの具体的な表現でわかりやすく (審議会意見)

子育て・介護について

問11 子育てを経験している(いた)方のみお答えください。子育てについて、何か不安に思うこと(思ったこと)、困っていること(困ったこと)はありますか。(○は3つまで)

1. 子どもの病気や発育のこと	2. 子育てに伴う経済的負担が重いこと
3. 子どもと過ごす時間や会話が少なこと	4. 家族が子育てに協力しないこと
5. 子育てを手伝ってくれる人がいないこと	5. 子育てについて相談相手がないこと
6. 子育てに対する職場の理解が少ないこと	
7. 子育てに対する地域や社会の理解が少ないこと	
8. 子育て支援サービスの種類・量(保育時間など)が足りないこと	
9. 子育て支援サービスに関する情報が不足していること	
10. 特に不安に思うことはない	11. その他 ()

問12 全員にお聞きします。人々が安心して子どもを生き育てられる環境を整えるには、主にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 保育施設・保育制度（延長保育や病後時保育など）の充実
2. 親子クラブなど地域の仲間づくり組織の充実
3. 放課後児童クラブ（学童保育）などの子育て支援の充実
4. 近所の人たちからの支援
5. ファミリーサポート事業の充実 ※注
6. 公的な経済援助の充実（児童手当、乳幼児の医療費補助など）
7. 父親の子育て参加
8. 育児に対する家族の理解と協力
9. 男女共に家庭との両立を図れる職場環境づくり（育児休業、フレックスタイムの導入、労働時間の短縮など）
10. 出産や子育てに関する不安・悩みに応える講座や相談の充実
11. ひとり親家庭の支援
12. 児童館などの子どもの遊び場の確保
13. その他（)
14. わからない

※注 ファミリーサポート事業：「子育ての手伝いができる人」と「子育ての手助けをしてほしい人」が会員登録し、となつていろいろな子育てに関する援助活動を行う事業

男性の育児・介護等についての設問を検討中

(例 群馬県の質問を参考)

- ・ 男性の育児休業・介護休業についてどう思いますか。
- ・ 男性が育児休業・介護休業を取得しない（できない）理由は何だと思いませんか。
- ・ 男性が育児や介護に積極的に参画するためにはどのようなことが必要だと思いますか。

問13 厚生労働省が実施した国民生活基礎調査によると、要介護者などが同居している場合、介護者の約7割が女性という実態が示されています。高齢者介護は女性の役割となりがちですが、どのように考えますか。(〇は1つ)

1. 女性の役割として当然だと思う
2. 介護される側のことを考えると、女性が介護するほうが良いと思う
3. 問題はあるが現状ではやむをえない
4. 男性も女性と共に介護するべきである
5. 男女に関わらず、主に家族が介護すべきである
6. 原則として、国や地方自治体が主体となつて行うべきである
7. その他（)
8. わからない

社会参加活動について

問14 あなたは現在、どのような社会活動に参加していますか。また参加していない場合その活動への参加についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

項 目	参加している	参加して いない	
		機会があれば 参加したい	参加したいと 思わない
1. スポーツやレクリエーションなどの活動	1	2	3
2. 審議会など公的委員活動	1	2	3
3. 地域活動 (婦人会、自治会、消防団など)	1	2	3
4. 子どもの健全育成に関する活動 (子ども会育成会、PTAなど)	1	2	3
5. 国際交流、環境保護、消費者運動などの活動	1	2	3
6. 福祉ボランティア活動	1	2	3
7. 趣味や文化、教養などの学習活動	1	2	3
8. その他 ()	1	2	3

女性会等に変更しては?
(審議会意見)

問15 社会活動に参加しようとする際に支障となるものは主に何ですか。
(○は3つまで)

1. 時間的な余裕がない
2. 参加の呼びかけがない
3. 一緒に活動する知り合いがない
4. 組織活動が苦手
5. 活動に費用がかかる
6. どのような活動があるのかわからない
7. 社会活動に関心がない
8. 健康や体力、知識・技能に自信がない
9. 家族の理解や協力がいない
10. 支障となるものはない
11. その他 ()
12. わからない

問16 **住んでいるお住まいの地域**（自治会）などで、現在次のようなことはありますか。
（○はあてはまるものすべて）

1. 会議や行事などで女性は飲食の世話や後片付け、掃除等、裏方の仕事を任されることが多い
2. 会議や行事などで女性が意見を出しにくい、意見**を取り上げてもらいにくい**が**取り上げられない**
3. 役員選挙に女性が出にくい、また選ばれにくい
4. 地域の行事で女性が参加できなかつたり、男性との**差がある**。**あつたりする**。
5. 地域の活動に女性が**少ないため**歓迎される
6. 地域の活動には女性のほうが積極的である
7. 特に男女差はない
8. その他（)
9. わからない

職業生活 や働き方について

問17 男女が働く上で、支障となることは主にどのようなことだと思えますか。
（○は3つまで）

1. 家事の負担が大きい
2. 配偶者や子どもの世話の負担が大きい
3. 介護の負担が大きい
4. 配偶者・子どもなど家族の理解や協力が無い
5. 育児や介護のための施設が十分でない
6. 職場で男女差別がある
7. 職場において結婚や出産による退職の慣例がある
8. 本人または配偶者の転勤
9. 長時間労働（残業・休日労働が多い、年次有給休暇が取りづらい）
10. 就職先**自体**が少ない
11. 支障となることは特にない
12. その他（)
13. わからない

問18 ~~一般的に、~~男女が共に**職業人として職場社会**で能力を発揮し、かつ継続して勤務するためには、主にどのようなことが重要だと思えますか。（○は3つまで）

1. **職業人社会人**として自覚をもつ
2. 仕事に必要な**職業能力**を身につける
3. 「男は仕事、女は家庭」という従来の社会通念が変わる
4. 採用、職場配置、研修などにおいて、男女共同参画の機会均等が確保される
5. 能力や実績に応じた評価（昇給や賃金等を含む）がなされる
6. 男女共に家庭生活と両立できるようにする
7. 結婚・出産などによりいったん退職した人が同じ職場に復帰できるようになる
8. その他（)
9. わからない

問19 **お勤めの人に 現在働いている方**にお聞きします。あなたの職場で、**現在**次のようなことがありますか。(○は「はい」か「いいえ」のどちらか1つずつ)

	はい	いいえ
1. 賃金に男女差がある	1	2
2. 昇給、昇格に男女差がある	1	2
3. 男性の能力を正当に評価しない	1	2
4. 女性の能力を正当に評価しない	1	2
5. お茶くみや雑用は女性がする女性は補助的業務や雑用が多い	1	2
6. 育児休業を取得できない、または取得しにくい	1	2
7. セクシュアル・ハラスメント防止のための規定がない	1	2
8. セクシュアル・ハラスメントやマタニティ・ハラスメント を受けた経験がある	1	2
9. 結婚や出産すると 勤め働き 続けにくい雰囲気がある	1	2
10. 女性は定年まで 勤め働き 続けにくい雰囲気がある	1	2
11. 希望の職種につく機会に男女差がある	1	2
12. 教育 や 研修を受ける機会に男女差がある	1	2
13. 男性と女性で違いはない	1	2
14. その他 ()		

問20 **一般的に女性が職業をもつ働くこと**について、あなたは**どう**お考えですか。(○は1つ)

1. 女性は**職業をもたない働かない**ほうがよい
2. 結婚するまでは**職業をもつ働く**ほうがよい
3. 子どもができるまでは、**職業をもつ働く**ほうがよい
4. 子どもができて、**ずっと職業を続ける方がよいずっと働き続ける**ほうがよい
5. 子どもができた**ら職業仕事をやめ、夫きくなったら成長したら再び職業をもつ働くこと**がよい
6. その他 ()
7. わからない

女性の社会参画について

問21 行政や企業、社会的活動などの方針決定への女性の参画を図る上で、どのようなことが大切だと思いますか。(○は3つまで)

1. 女性議員を増やす
2. 女性が各分野で活躍し、実績を上げる
3. 女性団体が積極的に活動する
4. 国・県・市町村など行政の審議会などに女性をふやす
5. 企業・官公庁で女性管理職を登用する
6. 職場で男女平等の取り組みを進める
7. 男女雇用機会均等法などの男女平等のための法律や制度を充実する
8. 自治会や地域の諸団体の長・役員に女性を増やす
9. その他 ()
10. わからない

男女共同参画を進めるための市の施策取組みについて

問 2 2 これまでに以下の用語や施策を見たり聞いたりした目にしたり、聞いたことがありますか。(〇は知っているものあてはまるものすべて)

1. 男女共同参画社会・男女共同参画社会基本法
2. 女性活躍推進法
3. 政治分野における男女共同参画推進法
4. 女子差別撤廃条約
5. 男女雇用機会均等法
6. 育児介護休業法
7. DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)
8. ジェンダー(社会的・文化的につくられた性差)
9. ポジティブアクション(積極的改善措置)
10. DV(配偶者などからの暴力)・デートDV(恋人交際相手などからの暴力)
11. ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭生活の調和)
12. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康・権利)
10. ストーカー行為等の規制等に関する法律
13. まえばし男女共同参画推進条例
14. 前橋市男女共同参画基本計画(第四次)「まえばし Wind プラン 2014」
15. 前橋市男女共同参画センター
16. 前橋市男女共同参画情報誌「新樹」(市が年1回(10月)発行し、広報まえばしに折込み)
17. 見たり聞いたりしたものはない 目にしたり、聞いたことはない

LGBTを入れてほしい(審議会意見)
人権の調査との兼ね合いをみながら検討

問 2 3 男女共同参画社会を進めるために、市では今後どのようなことに力をいれたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女共同参画について理解を深めるための情報提供を充実する
2. 行政・企業・地域など、あらゆる分野で女性の積極的登用のPRをする
3. 保育所・放課後児童クラブ(学童保育)などの子育て環境の整備を充実する
4. 保育所や学校における男女平等教育を充実させる
5. 職場における男女の均等な取り扱いに関して企業等へ働きかける
6. 地域で男女平等をすすめる生涯学習の場や機会を増やす
7. 高齢者や障害者に対する介護サービスを充実する
8. 男女共同参画に関する学習や活動、情報・ネットワークなどの拠点となる施設を設置する
9. 女性の就労機会が増えるよう、情報提供や職業訓練の機会を提供する
10. 男女共同参画に関する講座や講演会などを充実する
11. 女性に対するあらゆる暴力の根絶・防止に向けた取り組みを強化する
12. 男女共同参画相談事業の充実やDV・デートDV被害者のための一時保護施設を設置する
13. 各種団体などの女性リーダーを養成する
14. その他()
15. わからない

あなたご自身のことについて(アンケート結果を分析するための質問です)

A あなたの性別は(〇は1つ) ~~-(性別による分析などに使用します。)-~~

1. 男性
2. 女性
3. その他

B あなたの年齢は（○は1つ）（令和2年7月1日現在）~~（年代別の分析などに使用します）~~

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60歳～69歳 | 7. 70歳以上 | |

C あなたの職業は（○は1つ）~~（職業別の分析などに使用します）~~

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. 会社員・団体職員・公務員 | 2. 自営業（商工業・農林水産業・サービス業など） |
| 3. 学生 | 4. パート、アルバイト、 派遣など契約社員など |
| 5. 家事専業 | 6. 無職 |
| 7. その他（ | ） |

D あなたは結婚されていますか。（○は1つ）（世帯構成による分析などに使用します）

- | | | |
|-------|---------------|----------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚（事実婚を含む） | 3. 離別、死別 |
|-------|---------------|----------|

D-1 Dで「2. 既婚（事実婚を含む）」とお答えした方にのみお聞きします。
あなたの配偶者・パートナーの職業はどれですか。（○は1つ）
（共働きの形態による分析などに使用します）

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. 会社員・団体職員・公務員 | 2. 自営業（商工業・農林水産業・サービス業など） |
| 3. 学生 | 4. パート、アルバイト、 派遣など契約社員など |
| 5. 家事専業 | 6. 無職 |
| 7. その他（ | ） |

E あなたには、お子さん（同居していないお子さんを含む）がいますか。（○は1つ）
（世帯構成による分析などに使用します）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

E-1 あなたの一番下のお子さん（同居していないお子さんも含む）は、現在おいくつですか。
（子どもの年齢による教育・福祉などについての意識の分析などに使用します。）

満 歳

F あなたの世帯状況はどれですか。（○は1つ）（世帯構成による分析などに使用します）

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） | 2. 一世代世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ） |
| 3. 二世帯世帯（親と子） | 4. 三世帯世帯（親と子と孫など） |
| 5. その他（ | ） |

■最後に、男女共同参画についてご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました